

## 芸術学部 芸術学科 音楽領域

教授 松波 千津子

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例	2016. 4～2017. 3	<p>・「声楽研究Ⅰ～Ⅳ」では、学生一人ひとりの歌唱技術に応じた選曲を指導し、表現豊かな演奏能力を習得させることを目標としている。声楽研究Ⅰ、Ⅱは演奏の基礎づくりに力点を置き、Ⅲ、Ⅳでは受講生を積極的に学内外のオーディションに参加させ、自己研鑽と向上心を養うことに努めている。</p> <p>・「オペラ研究Ⅰ」ではモーツァルトのオペラ「フィガロの結婚」の一部を抽出して、前期は音楽練習（特にセッコの歌唱法）や豊かな表現力を導き出すように指導した。後期は、自分の歌や演技が的確に相手に伝わるように、積極的な行動を求め、全員でオペラを創造するという意識を持たせるように努めた。ホールでの演奏という最終目標に向かって、教室を段々広くして、ホールで演奏するための高度なテクニックを学ばせた。</p>
◎作成した教科書・教材	2016. 4～2017. 3	<p>・「声楽研究Ⅰ～Ⅳ」 コンコーネ50番・25番等の練習曲 イタリア歌曲集1・2 トステイー、ドナウディー、ベッリーニ等の歌曲集 日本歌曲集1・2・3 学生各々に適したオペラ・アリア集</p> <p>・「オペラ研究Ⅰ」 モーツァルト作曲オペラ「フィガロの結婚」</p>
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価	2016. 8	<p>授業評価の学生アンケートの集計結果において、高い回答率と出席率が、学部平均を大きく上回る4.5以上の高い数値を得た。この事実は、学生が極めて熱心に授業に取り組んだこと、また、学生がこの授業を通じて知識と技能が向上したことを実感できた、学生にとって心に響く満足度の高い授業であったことを証明している。しかし、これに慢心することなく、今後も授業のさらなる質的向上を目指して努力を重ねていきたい。</p>
◎その他	2016. 8  2010. 10～2016. 10	<p>春日井市立西部中学校合唱部の指導を行い、第83回NHK全国学校音楽コンクール〈予選・中学校部門・尾張地区〉において銀賞を受賞した。</p> <p>日本クラシック音楽協会から、コンクールの全国大会で2名以上の入賞者及び3名以上の出場者を輩出した事実によって、優れた指導能力が証明された音楽教育者に贈られる「優秀指導者賞」を連続7回（第20回～26回）受賞した。</p>

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
音楽講座「魅力ある美しい声の出し方と歌い方」	2016. 8. 29	(財)岐阜県県民ふれあい会館・サラマンカホールの主催の秋の音楽祭で、佐藤真作曲「土の歌」を歌う県民合唱団女声110名が受講した。 発声のメカニズムの解説や準備体操、発声練習を指導したほか本番で歌う「大地讃頌」を軸に、日本語の発音と音楽的表現について指導した。

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
◎演奏 オペラの魅力 Vol. 25		28. 6. 21	三井住友海上しらかわホール エウロ・リリカ主催	ヴェルディ作曲：オペラ「オテロ」ハイライトの〈デズデモナ〉役にて出演 ・柳の歌～アヴェ・マリア ・地に伏して！ 共演：岡本茂朗、石原まりあ、加藤利幸、上本鋼久 他、エウロ・リリカ合唱団、石山英明 (pf) 構成・演出：岡本茂朗
愛知県立芸術大学創立50周年記念 音楽学部同窓会コンサート		28. 8. 6	三井住友海上しらかわホール 愛知県立芸術大学音楽学部同窓会主催	ヴェルディ作曲：オペラ「椿姫」より “ああ、そは彼の人か～花から花へ” 二重唱 “天使のような清らかな娘” 共演：澤脇達晴、石山英明 (pf)
愛知室内オーケストラ —長浜特別演奏会—		28. 10. 2	浅井文化ホール 長浜市・浅井文化ホール主催	ヴェルディ作曲：オペラ「椿姫」より 乾杯の歌 “友よ、さあ飲み明かそう” “不思議だわ！ああ、そは彼の人か～花から花へ” 指揮：新田ユリ 共演：愛知室内オーケストラ
サラマンカホール 子どものためのオペラ 「魔笛」		28. 12. 18	(財)岐阜県県民ふれあい会館 サラマンカホール サラマンカホール主催	モーツァルト作曲：オペラ「魔笛」の〈夜の女王〉役にて出演 指揮：倉知竜也 演出：池山奈都子 共演：中井亮一、國光ともこ 他
◎コンクール審査 第8回東京国際声楽コンクール〈予選〉		28. 7. 3	中村文化小劇場 一般社団法人東京国際芸術協会主催	審査員
第17回大阪国際音楽コンクール〈中部地区本選〉		28. 7. 24	名古屋芸術大学3号館ホール 大阪国際音楽振興会・大阪国際音楽コンクール実行委員会主催	審査員
第26回日本クラシック音楽コンクール〈中部地区予選〉		28. 8. 18	中村文化小劇場 日本クラシック音楽協会主催	審査員
第70回全日本学生音楽コンクール〈名古屋大会予選〉		28. 9. 10	今池ガスホール 毎日新聞社主催	審査員

第26回日本クラシック音楽コンクール〈中部地区本選〉		28. 10. 18	岐阜市文化センター小劇場 日本クラシック音楽協会主催	審査員 第26回優秀指導者賞受賞（7年連続）
第70回全日本学生音楽コンクール〈名古屋大会本選〉		28. 10. 30	今池ガスホール 毎日新聞社主催	審査員
第46回イタリア声楽コンクール		28. 11. 13	名古屋芸術大学3号館ホール 毎日新聞社・社団法人イタリア協会共催	審査員
◎アドバイス・レッスン 春日井市立西部中学校合唱部		28. 4. 2 28. 4. 16 28. 7. 2 28. 7. 9 28. 7. 16 29. 3. 5 29. 3. 27	すぺーす萌 神田サロン すぺーす萌 神田サロン 名古屋芸術大学 中アンサンブル室 すぺーす萌 名古屋芸術大学 中アンサンブル室	合唱部の指導を行い、第83回NHK合唱コンクール（予選・中学校部門・尾張地区）において銀賞を受賞した。
◎講演 音楽講座 「魅力ある美しい声の出し方と歌い方」		28. 8. 29	財岐阜県民ふれあい会館 サラマンカホール サラマンカホール主催	佐藤真作曲 カンタータ「土の歌」より “大地讃頌”を取り上げ、美しい声の発声方法と歌唱法を指導した。
◎その他 声楽歌唱法の指導方法についての一考察—日本歌曲「赤とんぼ」と「浜辺の歌」を例にして—	単著	2016. 3	名古屋芸術大学教職センター紀要	この論文では、山田耕筰作曲の「赤とんぼ」と成田為三作曲の「浜辺の歌」等に代表される日本の伝統的な歌唱教材を用い、中等学校の音楽科の学習目標である「豊かな情操」の育成のために、生徒一人ひとりの想像力と感性を育むことが重要であること、そして楽譜から作曲家の意図を理解し、歌詞に込められた作詞家の心を汲み取り、どのように演奏すべきか、その表現方法と歌唱法を学ぶことが大切であることを明らかにした。